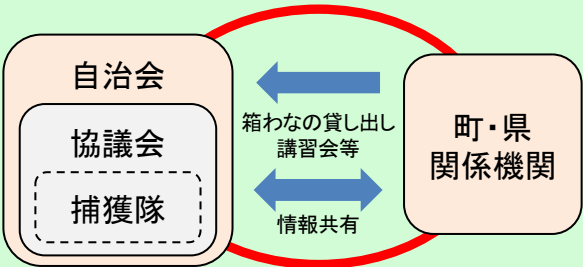


地域ぐるみのヌートリア対策(香川県小豆郡土庄町)

- 土庄町内の自治会が中心となり、町、県みどり保全課、普及センター等と連携し、対策協議会を設立
- 生態や被害対策の正しい知識と理解を得るため、協議会が講習会を開催
- 捕獲者の育成を図り、捕獲隊を結成して個体数を低減
- 地域をエリア分けし、それぞれ班体制の捕獲隊を置いて各エリアごとに責任ある対策を実施
- 生息環境管理として、地域ぐるみで潜伏場所となる雑草木を刈り払い

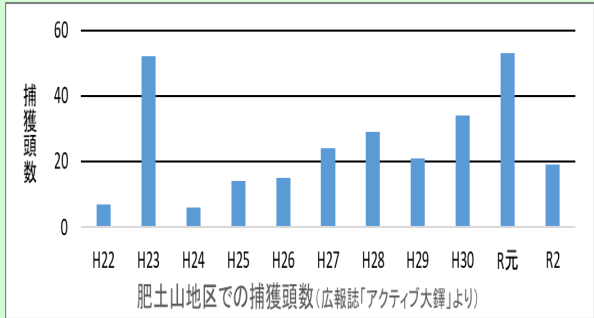
取組内容

- 平成23年8月8日、自治会を中心とした「肥土山地区ヌートリア被害対策協議会(構成員60人)」を設立
(正しい知識と対策の普及及び実践が活動目標)
- 行政・関係機関と連携しながら講習会等を通じて、ヌートリアの生態や総合的な防除対策の重要性を学習するとともに、捕獲従事者を養成
- 地域を10のエリアに分け、それぞれで防除従事者を中心とした捕獲隊を組織し、班体制で捕獲活動を実施
- 生息場所となる河川、ため池、耕作放棄地を洗い出し、土地所有者に働きかけ、雑草木の刈り払いを実施



成果

- 地域ぐるみの取組により、「自分たちで地域を守る」意識が醸成
- 捕獲体制の構築と効率的な捕獲の取組により、被害が減少



今後の取組

- 住民同士で情報を共有しながら、活動を継続

地域ぐるみのヌートリア対策(香川県小豆郡土庄町)

きっかけ・背景

- 植え付け直後の水稻の苗の葉先が食害され、原因がヌートリアによるものと判明
- ヌートリアは繁殖力が強く、放置すると手が付けられなくなると、地域住民間で危機感が醸成



【肥土山地区の概要(3年9月1日現在)】
○人口:613人
○世帯数:279世帯

取組の特色

- 肥土山地区の自治会長が協議会の会長となり、自治会が中心となって継続的に活動
- 地域をエリア分けして班長と班員を置き、それぞれのエリアで責任ある対策を実施

Step1 対策協議会の設立(H23)

- 自治会が中心となり、土庄町、県などと連携し、「肥土山地区ヌートリア被害対策協議会」を設立
- 防除対策講習会を実施し、正しい知識を学習するとともに、集落ぐるみで捕獲と生息環境管理などに取り組むことを決定



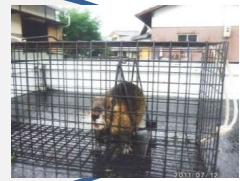
Step2 体制の強化(H23)

- 「アライグマ・ヌートリア防除従事者養成講習会」の受講を促し、捕獲従事者を養成
- 地域を10のエリアに分割し、それぞれのエリアで捕獲隊を組織



～捕獲のコツ～

- ・エサはニンジン
- ・冬季に集中的に捕獲



Step3 地域ぐるみの活動(H23)

- 箱わなによる捕獲を開始
- 被害や目撃情報を収集するとともに、効率的な捕獲方法について協議会が検討
- 環境管理として、生息場所(河川、水路、ため池、耕作放棄地)付近の清掃、川底の草刈りを、捕獲隊が地域活動の一環として実施

Step4 情報の共有(H23)

- 町や地域の広報誌等に、捕獲頭数や活動内容等を掲載し、協議会の活動成果を地域の住民と共有
- 目撃情報を収集し、箱わな設置場所を検討

取組による成果・効果

- 捕獲と生息環境管理を積極的に実施した結果、農作物被害が減少
- 対策の開始当初は苦戦したものの、コツを掴んでからは効率的に捕獲を実施
- 隣接する地域にも取り組みが拡大